

2024年に見つかった牧野と仲間たちの写真



自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ

鈴木 武

牧野富太郎は高知県出身の植物分類学者です、在野の植物研究者や博物学教員などと交流をし、植物を愛好する輪を広げた。

その様子は冊子「牧野植物採集行動記録」の日々の記録の中に見えますが、欠落している情報が多々あります。これを補う方法のひとつが各地に残っている写真です。交流が深かった川崎正悦、日下久悦氏のご家族のもとに新たな写真が見つかりました。ここではその一部を紹介します。



1937 (昭和2)年7月27日 大阪駅? 川崎家所蔵
牧野行動録と顔ぶれから、この日に夜行列車で東京に戻る牧野を見送った場面と推定。列車に乗る牧野写真は珍しい。

山鳥吉五郎 西宮市立高女校長。牧野の採集会を主催して、同行。
宇井縫蔵 和歌山県出身の博物学者。このころは大阪在住。



牧野富太郎 1862-1957



川崎正悦 1893-1978

灘高博物学教諭。横浜時から牧野と懇意。



日下久悦 1900-???

大阪浪速の薬種商。宝塚別宅で山野草栽培。



1937 (昭和2)年5月25日 箕面市箕面大滝?

川崎家所蔵

牧野行動録では、この日の前後は牧野は関西に来ていた。大阪在住の竹下・堀・原が同行していることから大阪府内であろう。滝の形などから、箕面大滝と推定した。

堀勝 池田高等師範 (博物学)。著作に大阪府植物誌がある。
竹下英一 大阪樟蔭高女教諭。大阪植物同好会の中心人物。
原宮男 製薬研究所に勤務。山野草愛好家。



1952 (昭和27)年4月30日 牧野宅?

日下家所蔵



このころの牧野の行動記録はほとんど残っていない。この日の写真記録は貴重である。

中井猛之進
東京帝国大学理学部教授 (植物学) など歴任。